

目次

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
読解基礎	1	文学的文章①	4		/	/	○ △ ×
	2	文学的文章②	8		/	/	○ △ ×
	3	文学的文章③	12		/	/	○ △ ×
	4	文学的文章④	16		/	/	○ △ ×
	5	説明的文章①	20		/	/	○ △ ×
	6	説明的文章②	24		/	/	○ △ ×
	7	説明的文章③	28		/	/	○ △ ×
	8	説明的文章④	32		/	/	○ △ ×
読解標準	1	文学的文章⑤	36		/	/	○ △ ×
	2	文学的文章⑥	40		/	/	○ △ ×
	3	文学的文章⑦	44		/	/	○ △ ×
	4	文学的文章⑧	48		/	/	○ △ ×
	5	説明的文章⑤	52		/	/	○ △ ×
	6	説明的文章⑥	56		/	/	○ △ ×
	7	説明的文章⑦	60		/	/	○ △ ×
	8	説明的文章⑧	64		/	/	○ △ ×
古文・詩歌	1	現代仮名遣い①	68		/	/	○ △ ×
	2	現代仮名遣い②	70		/	/	○ △ ×
	3	詩歌・古文①	72		/	/	○ △ ×
	4	詩歌・古文②	78		/	/	○ △ ×
	5	古典①	84		/	/	○ △ ×
	6	古典②	88		/	/	○ △ ×
文法	1	文法①	92		/	/	○ △ ×
	2	文法②	96		/	/	○ △ ×
	3	文法③	100		/	/	○ △ ×
	4	文法④	104		/	/	○ △ ×

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
作文	1	スピーチなどの原稿を書く	108		/	/	○ △ ×
	2	資料を読み取って文章を書く	116		/	/	○ △ ×
	3	ディベート形式の意見文を書く	123		/	/	○ △ ×
	4	文章を読んで作文を書く	131		/	/	○ △ ×
	5	作文・表現	140		/	/	○ △ ×
	6	作文	142		/	/	○ △ ×
漢字	1	漢字練習①	143		/	/	○ △ ×
	2	漢字練習②	153		/	/	○ △ ×
	3	漢字練習③	163		/	/	○ △ ×
	4	漢字の読み書き①	171		/	/	○ △ ×
	5	漢字の読み書き②	180		/	/	○ △ ×

1 文学的文章①

例題 1

〈日高敏隆「春の数えかた」より〉

- 4
 (1) — 線①「こんなに寒いのに」とありますが、「ぼく」が特に寒さを感じたのはなぜですか。その理由を書いて答えなさい。

- 4
 (2) — 線②「大人ってどうしてこんなうそを平気で信じられるんだろう?」とありますが、「こんなうそ」とは具体的にどんなことを指していますか。書いて答えなさい。

- 5
 (3) この文章は何について書かれていますか。書いて答えなさい。

解法のポイント

- (1) **設定** 『ぼく』の子どものころの生活環境を読み取ります。第三段落に着目し、「戦時中、隙間の多い日本家で、物資が不足していたから。」という理由を読み取ります。「なぜ」と問われているので、「〜から。」とまとめます。

- (2) **内容理解** 「こんなうそ」の内容をまずつかみます。幼いころの『ぼく』は、まだ寒いのに、大人は正月を「新春」と言って「春」を祝っているため、不思議に思ったのでしょうか。以上は「正月を新春と呼んでいること。」とまとめられます。

- (3) **主題** この文章は、全体として何について述べているのかをつかみましょう。内容をまとめると、「幼いころの『ぼく』は、正月の寒い時期を『新春』と呼ぶのに抵抗を感じ、三月になって春の到来を感じていた」となりますが、主題としてまとめると、『ぼく』にとっての『春』はいつかということ。「〜」となります。

〈篠田桃紅「きのうのゆくえ」より〉

(注) トーコー＝筆者、篠田桃紅。
 棧＝横木。

5 (1) 線①「感嘆の声をあげた」とありますが、その理由を書いて答えなさい。

4 (2) 線②「私はちょっと拍子抜けした」とありますが、「私」はなぜ「拍子抜け」したのですか。その理由を、「私」のその時の状況を考えて書いて答えなさい。

4 (3) 線③「船でパナマ運河を通過しても、ムレないよう、虫もカビもつかないようにしてある」とありますが、N氏は、作品を虫やカビから守るためにどのようなことをしたのですか。書いて答えなさい。

解法のポイント

(1) **心情** 傍線①の直後に「私の作品にはない。作品はまだ紙に包まれている」とあることから、「作品を保護していた杉板の包み方と香りがすばらしかったから」であることが分かります。

(2) **心情** 異国で初めての個展開催で、「私」は自分の作品がどう評価されるか、緊張や不安を抱えていたのでしょうか。ところが、「皆が作品ではなく、梱包に用いられた杉板にばかり気を取られていたから」、張りつめていた気がぬけるような思いを「私」は味わっています。

(3) **内容理解** N氏が梱包の際に「作品の間に杉材をあてた」のは、輸送する作品の保護という実用的な目的からだと考えられますが、結果としてはそれが思いがけない匂いを届けることになったのです。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈室生朝子「目に見えない贈り物」より〉

3 (1) **心情**——線①「ものずきな雑誌もあつたものだ」には、犀星のどんな気持ち（本心）が隠されていますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 出版社に対してあきれられる気持ち。
 イ 娘の能力を疑い、あやぶむ気持ち。
 ウ 娘にチャンスが来たことを喜ぶ気持ち。
 エ 出版社の目のつけ所に感心する気持ち。

3 (2) **心情**——線②「庭からそうつとのぞいていた」とありますが、このときの犀星の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 心配 イ 疑惑
 ウ 監視 エ 期待

3 (3) **細部** ①く④には、「目」または「手」のうちのいずれかが入ります。それぞれあてはまることばを書いて答えなさい。

①
②
③
④

3 (4) **細部** ※に入る最も適切なことばを、本文中から三字で書き抜いて答えなさい。

--

3 (5) **内容理解**——線③「目に見えないもの」とは何ですか。本文中から五字で書き抜いて答えなさい。

--